

社会資本総合整備計画

歴史・文化が織りなす、賑わい・活力・潤いにあふれる、豊かで住みよいまち半田

平成27年 3月 2日(当初)

平成28年 2月22日(第1回変更)

平成29年 3月31日(第2回変更)

平成30年 3月16日(第3回変更)

愛 知 県 半 田 市

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成30年3月16日

計画の名称	歴史・文化が織りなす、賑わい・活力・潤いにあふれる、豊かで住みよいまち半田			重点配分対象の該当
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)	交付対象	愛知県、半田市	
計画の目標				

本市は、古くは江戸時代から醸造業で栄え蔵が建ち並ぶ半田運河周辺地区、明治時代にビール工場として建造された半田赤レンガ建物、日本を代表する童話作家 新美南吉のふるさとである岩滑地区等、歴史と文化資産が多く存在している。しかしながら、これらを中心とした回遊性やより多くの観光客に訪れていただくための拠点施設の魅力の不足、都市基盤整備の遅れ等、早急に取り組むべき課題がある。こうした課題を克服し、本市の将来像である「市民が誇れる 賑わいと活力に満ちた、住み続けたいまち半田」を目指すためには、市民の憩いの場の充実、都市基盤整備、観光資源の活用等が必要不可欠である。そこで、本計画では、公園整備や景観整備、観光施設整備及びこれらの施設へのアクセス改善等を実施するとともに、本市の玄関口であるJR半田駅周辺の中心市街地において、連続立体交差事業とあわせて一体的な市街地形成を図ることに より、「歴史・文化が織りなす、賑わい・活力・潤いにあふれる、豊かで住みよいまち半田」を目指すものである。

計画の成果目標(定量的指標)

- ・ミツカンミュージアム(MIM)・酒の文化館・新美南吉記念館の年間来場者数を221,001人(H24)から235,498人(H31)へ増加させる。
- ・「良い景観が形成されている」ことに対する満足度を0.80Pt(H26)から1.42Pt(H31)へ上昇させる。
- ・「公園・緑地がきちんと整備されている」ことに対する満足度を1.15Pt(H26)から2.45Pt(H31)へ上昇させる。
- ・乙川中部土地区画整理事業区域内における居住者人口を2,153人(H26.4)から2,700人(H30末)に増加させる。
- ・高架側道整備事業における公共空間(事業用地確保面積)の確保率を0%から80%に向上する。 ※事業用地確保面積は高架側道の買収面積を指す。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H当初)	(H末)	(H末)	
ミツカンミュージアム(MIM)・酒の文化館・新美南吉記念館の年間来場者数を調査する。	(H24) 221,001人	—	(H31) 235,498人	
市民アンケートを行い、「良い景観が形成されている」の平均ポイントを調査する。	(H26) 0.80Pt	—	(H31) 1.42Pt	
市民アンケートを行い、「公園・緑地がきちんと整備されている」の平均ポイントを調査する。	(H26) 1.15Pt	—	(H31) 2.45Pt	
乙川中部土地区画整理事業区域内地区内の居住人口を住民基本台帳人口から抽出する。	(H26.4) 2,153人	—	(H30末) 2,700人	
高架側道整備事業における計画事業用地の総面積と事業用地確保面積の比率を計測する。	(H26) 0%	—	(H31) 80%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,901.9百万円	A	3,765.2百万円 <small>(うち提案事業費26.7百万円)</small>	B	1,077.0百万円	C	39.1百万円	D	20.6百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C+D)	1.3%
-------	-----------------	------------	---	---	---	------------	---	---------	---	---------	------------------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
1-A-1	都市再生 整備計画	一般	半田市	直接	半田市	半田歴史文化を辿るまち地区都市再生整備計画事業	道路・公園・高質空間形成施設、地域生活基盤施設等	半田市						904.9			
1-A-2	街路	一般	半田市	直接	半田市	半田乙川中部地区((都)環状線)	区画整理 A=47.5ha	半田市						2,000.0			
1-A-3	都市公園 事業	一般	半田市	直接	半田市	かりやど 雁宿公園	広場整備、遊具設置、駐車場整備、既設スタンド撤去等	半田市						524.8			
1-A-4	都市公園 事業	一般	半田市	直接	半田市	公園施設長寿命化対策支援事業(半田市)	遊戯施設改築N=36公園	半田市						120.0			
1-A-5	街なみ環 境整備事 業	一般	半田市	直接	半田市	やなべ 岩滑地区	道路美装、橋梁美装、修景施設整備助成等	半田市						154.8			
1-A-6	街路	一般	半田市	直接	半田市	高架側道整備事業 ((都)武豊線東側道1号線ほか5路線)	鉄道高架側道 L=2,150m	半田市						23.6			
1-A-7	都市公園 事業	一般	半田市	直接	半田市	公園施設長寿命化計画策定事業	調査、計画策定	半田市						11.1			
1-A-8	街路	一般	半田市	直接	半田市	JR半田駅前土地区画整理事業 ((都)半田駅前線ほか3路線)	道路 L=356m 駅前広場 A=2,420㎡	半田市						26.0			
合計												3,765.2					

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
1-B-1	街路	一般	半田市	直接	半田市	高架側道整備事業 ((都)武豊線東側道1号線ほか5路線)	鉄道高架側道 L=2,150m	半田市						1,077.0			
合計												1,077.0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-B-1	半田歴史文化を辿るまち地区都市再生整備計画事業(1-A-1)と併せて、高架側道を整備することにより、駅や観光施設等への回遊性の向上を図り、快適で利便性の高い都市づくりを推進する。											

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-C-1	計画・調査	一般	半田市	直接	半田市	事業効果分析調査	整備計画の事業効果分析	半田市						5.0	
1-C-2	都市再生整備計画	一般	半田市	直接	半田市	半田池公園整備事業	半田池公園の整備、0.3ha	半田市						34.1	
合計													39.1		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
1-C-1	社会資本総合整備計画に基づき行った事業について成果・課題を整理・分析することで、効果の持続と今後のまちづくりの改善につなげる。														
1-C-2	半田歴史文化を辿るまち地区都市再生整備計画事業(1-A-1)と併せて、南吉童話の舞台となった半田池に半田池公園を整備することで、歴史文化を活かしたまちづくりの推進に寄与する。														

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-D-1	地籍整備	一般	愛知県	間接	半田市	地籍調査(東洋地区)	面積 0.36k㎡	半田市						20.6	
合計													20.6		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
1-D-1	基幹事業(1-A-1)の都市再生整備計画事業に併せ、土地境界情報を整備しておくことで、円滑な都市開発の促進に貢献する。														

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	106.829	142.952	259.374		
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000	0.000		
交付額 (c=a+b)	106.829	142.952	259.374		
前年度からの繰越額 (d)	0.000	4.565	25.149		
支払済額 (e)	102.264	122.368	275.503		
翌年度繰越額 (f)	4.565	25.149	9.020		
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	0.000		
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-		

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面

